

箱根四里を歩く山行報告

2015年11月15日提出（提出者：M）

山名・山城：三島、箱根

山行目的：三島宿から箱根宿をのんびり歩く

山行日：2015年11月13日（金）－14日（土）

参加者：M単独行

ルート、コースタイム

三島駅07:57－三嶋大社－愛宕坂09:00－富士見ヶ丘09:30－坂小学校前10:40－コワメシ坂－山中城跡－山中新田－農場前－接待茶屋13:00－峠茶屋－箱根峠－箱根町16:20－16:40廬山荘

山行記録（記録性を重視し、天候、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など）

13日（金）支度が手間取り30分遅れる。二宮駅7時に間に合う。三島駅まで立ちづめ。駅前で食料調達。駅を南下する。22号線を左に取る。三嶋大社を過ぎる。東海道線の踏切音が懐かしい。愛宕坂。塚原新田あたりで左の靴中敷きを詰める。足裏の痛みが無くなった。写メで富士山を撮る。小学校の側の道端でニギリを頼張る。三ツ谷新田あたりは車道歩き。コワメシ坂もゆっくり歩き。国道1号線に突き当たり渡って石畳のみちが歩行禁止の看板を見る。迂回路へ行けと。笹原バス停。1号線に沿ってぐるっと回る。車道が改良中。風が冷たい。山中城跡までの石畳、歩きにくい。バス停山中城跡。国道渡る。左手諏訪神社の所で陸橋を渡る。陽は既に無く、曇り空が覆う。一人だと心寂しくなる。農場前までに下ってくる来る五六人に合う。車道渡る。石原坂につく。フデリンドウを発見。行けども行けども歩きにくい石を敷いた登り。息が上がる。もう来たたくない。江戸時代には大名行列が通り、北斎や広重も通ったのだろう。と思うと歩き甲斐も出るものだ。風も冷たく雨が降りそうな感じ。次のバス停で乗車しようかと頭に浮かぶ。接待茶屋バス停の時刻表が日に焼けて真っ白。幾つ前かのバス停で時刻表を見たときの時間からしてもう行ってしまったに違いないと諦めて

歩く。と、少し歩いたらバスが走って行くのを見る。しまった待ってれば良かったと思ったのだが。えーいもう歩き通すしかないと思腹を括る。甲石坂もうんざりだ。車道に出て歩いていると若い女性が一人下って行くらしいのに合う。この時間で大丈夫なのか。峠茶屋を過ぎる。箱根峠バス停からの道が不明で行きつ戻りつして1号線の車道歩きとなった。事故に遭う可能性は高い。箱根峠からはバスに乗れという事らしい。道の駅でトイレ。ここから赤石坂に入る。急階段、苔むす石は滑りやすい。気を抜けない。事故はこういう時に起きる。一步一步確保して進む。車道の下を潜る。もう右膝の限界。数歩歩いて膝を庇い、737号線に出、右にとる。1号線に出る。歩くのは限界なのでタクシーが来ないか見ながら足を引きずる感じ。戸川入口バス停を過ぎて、車を誘導する警備員の人にタクシー会社を聞くと、タクシーを呼んで来ると言うのでお願いする。礼を言ってタクシーに乗る。安心したのか自慢話を始める。タクシー運転手も話しにのる。湖尻で食料調達。大涌谷から水蒸気が吹き上がるのを見る。暗くなりかけた夕刻少し早めに廬山荘に着いた。Wさんにショートメールを入れる。ありがとうございます。襖の前の畳が軋むが、広い湯は気持ちよく独り占め。右膝は少し痛みが取れた感じ。床を敷き早寝を決める。14日（土）は小雨。秋の小道の散策。箱根ガラスの森美術館とポーラ美術館をゆっくり観る。レオナルドフジタのポストカードを買う。珈琲を飲みながら記録をとる。強羅に出て帰途に着く。雨の箱根もまたいい。酸ヶ湯から奥入瀬に向かう山毛櫨林の秋の景色を思い出した。

反省と教訓

右膝を鍛えること。箱根峠の所のコースを調べなかった。石畳が一部以外、畳のようでなく凸凹で歩きにくい。人に勧められるコースとは言えないが一度は経験するのも悪くない。この計画の後に湯元－箱根－三島を考えていたが取りやめた。三島から西の東海道を歩いてみたいと思う。

大場川の橋から富士山



錦田一里塚へ向かう標識



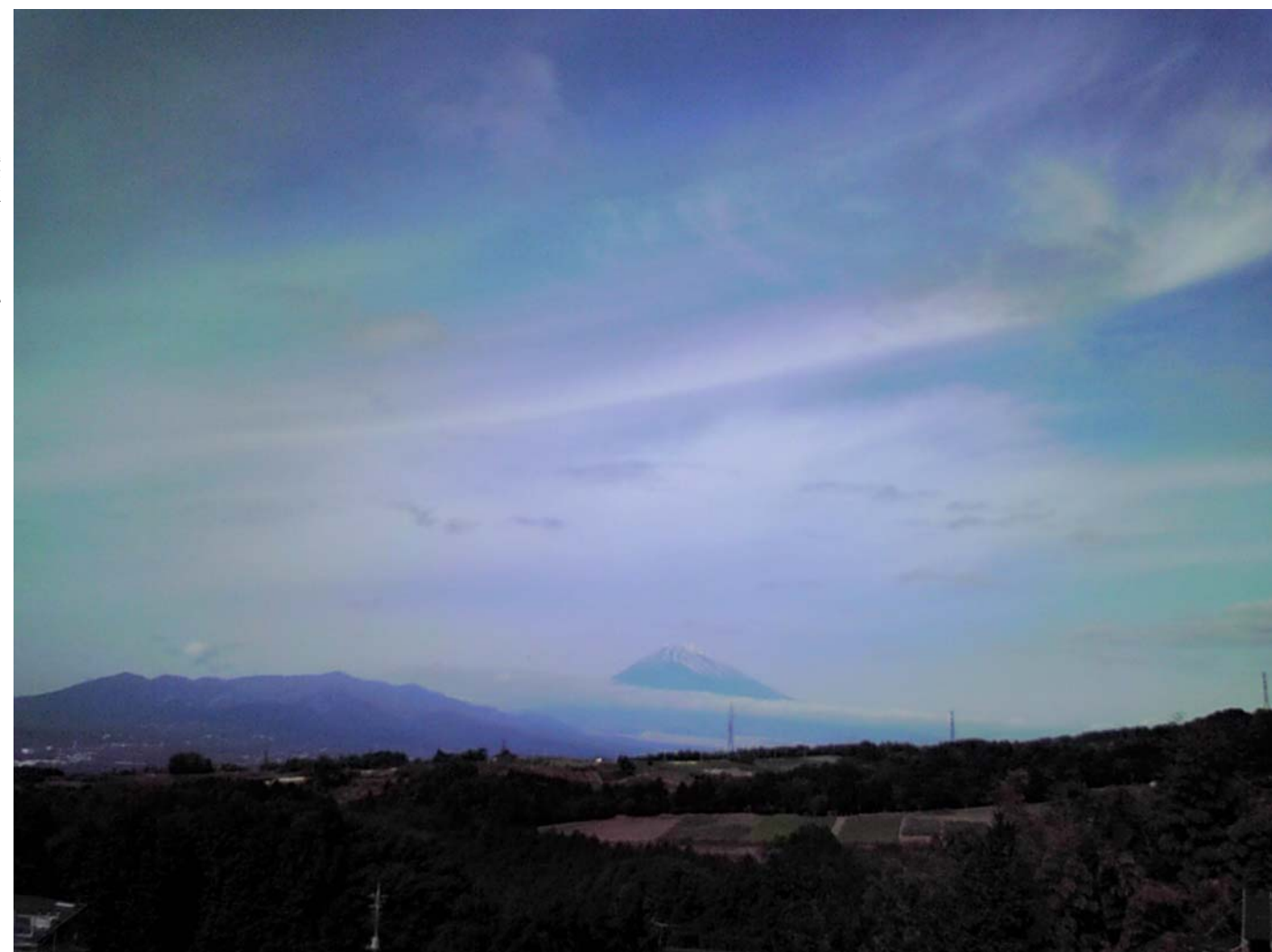
三恵台付近の陸橋から



愛鷹山塊



塚原新田あたりから



塚原新田の標識





箱根ガラスの森美術館で



ガラスの森美術館バス停



ポーラ美術館内カフェから



仙石原プリンス通り



箱根ガラスの森美術館のカフェから



ポーラ美術館内